

O's news



2018年3月1日発行

ホルモンの異常や目が見えにくくなる 不思議な脳外科の病気

副院長 兒玉 裕司

下垂体という器官があります。これは頭蓋骨の底の部分に 脳からぶら下がるように存在し、ホルモンを作る器官です。この下垂体に発生する腫瘍(図1)は比較的多くみられます。大半は良性腫瘍でゆっくり成長しますが、ホルモンのバランスが崩れることがあります。特に多いのがプロラクチンというホルモンの異常です。プロラクチンは女性の月経周期や妊娠・出産、産後の乳汁分泌などを調節する役目のホルモンです。このため、月経異常や乳汁分泌など女性特有の症状を呈し、産婦人科で高プロラクチン血症と診断されることが一般的です。原因のはっきりしない月経異常がある場合など、治療を始める前に一度 MRI 検査で確認することは大事です。

腫瘍の治療は薬物治療と手術が主なものです。最近の薬物治療ではカベルゴリンという薬剤が一般的です。多くの場合に腫瘍の縮小とプロラクチン値の正常化が得られるものの、効果がない場合もあります。プロラクチンを正常化することで症状は改善しますが、薬を中止した後の腫瘍再増大は避けられません。最近では、治療開始初期に徹底的にプロラクチンの数値を下げる厳密な治療を行った場合に、薬のみで治癒する可能性があるということが分かってきています。このためにも最初にしっかり診断することが大事です。尚いづれにしても長期の内服治療が必要です。

手術は、鼻から内視鏡というカメラを挿入し腫瘍を摘出する方法が一般的です。頭や顔を切開する必要はありません。腫瘍が大きい場合は完全に摘出できることが多く、プロラクチンの値はすぐに正常化しそこで治療が終了となります。その場合、服薬は不要となります。

また、下垂体は視神経(眼球と脳をつなぐ神経)の真下にあります。このため、腫瘍が大きくなると目が見えにくくなる症状が出ます。白内障の手術をしたのによく見えない、などはよくあるエピソードです。目の病気としては少しおかしいかもと判断された場合、やはり MRI で確認することが必要です。目の症状が出た場合、早めの治療をしないと視力が戻らない最悪の結果となり得ますので注意が必要です。



図1



入職医師の紹介



2月より勤務しております、前岡良輔と申します。
粉骨砕身働きたいと思えます。皆様のお役に立てればと考えています。
よろしくお願いいたします。



脳神経外科専門医
脳神経血管内治療専門医

前岡 良輔
(まえおか りょうすけ)



南3階病棟の紹介

南3階病棟 看護師 砂川 侑子

南3階病棟はSCU（ストロークケアユニット）6床を併設した脳卒中センターです。

脳卒中とはクモ膜下出血、脳出血、脳梗塞の3つの病気のことです。

脳卒中のほとんどは高血圧が要因とされています。また糖尿病、高脂血症、喫煙や多量の飲酒なども脳卒中発症の危険因子です。これらは生活習慣から起因するものであり、生活改善を行うことが脳卒中予防になります。

そこで南3階病棟では、入院患者様1人1人の生活に合わせた助言を行い、退院後の生活を見据えて患者様と一緒に考える「生活指導」を心がけて行っています。

また、リハビリスタッフや薬剤師などの多職種と患者様が生活する上で問題となっていることや退院に向けての話し合いを定期的に行っています。

不明な点があれば何でもスタッフに相談して頂き、不安が少しでも軽減した状態で退院して頂けるようにしたいと考えています。





やよい 弥生

「いよいよ」「ますます」という意味の「弥」、草木がいよいよ生い茂る月の3月、早春の優しい花々が咲き、生命が目覚める春の訪れです。

二節気 雨水

3/1～5(第六候) 草木萌動 / そうもくめばえうごく

大地や大気が潤い、草木の芽がゆっくりと動き始め春の息吹が感じられる季節です。桃の節句のおひな様の優しい姿に心がなごみます。キャベツが突然変異して、白化したカリフラワー「cole flower (キャベツの花)」が名前の由来です。



三節気 啓蟄

3/6～10(第七候) 蟄虫啓戸 / すごもりのむしとをひらく

「啓」は「ひらく」、「蟄」は「土の中で冬ごもりをしている虫」を表わし、小さな虫があたりをさを感じて目覚めます。冬眠から目覚めた熊が最初に口にするのは「雨水」の頃芽生えた「フキノトウ」だそうです。「春には苦みを盛れ」山菜の苦みには冬の間の老廃物を流してくれる作用があります。



日に日に寒さが和らぎ、陽光の中に春が感じられます。



3/11～15(第八候) 桃始笑 / ももはじめてさく

梅の花と桜の間の時期に咲く「桃」の花、古くから霊力を持つ木とされました。黄泉から追うイザナミをイザナギは桃の実を投げ振り払いました。理想郷を「桃源郷」と呼ぶのも「神性」をあらわし、「桃太郎伝説」もそのひとつですね。



3/16～20(第九候) 菜虫化蝶 / なむしちょうとなる

あたたかな陽差しの中、青虫たちが蝶になりふわふわと舞い始めます。赤い小豆あんをまぶした様が牡丹の花に似ていることから「ばた餅」と呼ばれました。お彼岸に食べると先祖供養に結びつく江戸時代からの習慣です。ちなみに秋には萩に見たてて「おはぎ」に♪



四節気 春分

3/21～25(第十候) 雀始巢 / すずめはじめてすくう

巣作りのために枯れ枝をくわえる雀、春も深まってきた光景です。「雀の子 そこのけそこのけ お馬が通る 一茶」雀の子は春の季語です。他の木々に先駆け、白い花をたくさん咲かせる「辛夷(こぶし)」、別名「田打ち桜」と言い昔は種をまく指針となりました。



春分の日を境にだんだんと日がのびてきます。季節のお菓子「桜餅」は関西は道明寺粉、関東では小麦粉を使います。

3/26～30(第十一候) 桜始開 / さくらはじめてひらく

日本の春の風景の象徴、桜の花がほころび始めます。つぼみの固さ、ふくらみ具合、色づき、開花を迎え、散り落ちる花びらの行方まで追いかけるように愉しむ風習がありますね。何げない街角で枝をのぼす桜の下にも見上げる人の優しい笑顔があります。

今月の花 多肉植物

多年草
ベンケイソウ科・トウダイクサ科他

原産地: 南アフリカ、南アメリカ
花言葉: 「枯れない愛」「偉大」(サボテン)



ぷくっとした肉厚の葉、様々な色やユーモラスな形、育てやすく、形を変化させながら成長してゆく多肉植物はインテリアとしても人気が高く、一大ブームを巻き起こしています。サボテンやアロエも多肉植物の仲間、強い乾燥に適應するべく茎や葉に水を蓄えるようになりました。寒い時期は紅葉した葉も楽しめます。大きく分けて「春秋型」「夏型」「冬型」の三つに分かれ、育て方も異なります。水やりはひかえめに強い夏の光を避けた日あたりを好みます。お気に入りの多肉植物を身近で育ててみませんか?



Ohnishi Neurological Center

外来担当医表

		月	火	水	木	金
1診	午前	大西	大西(宏)	久我	西岡	兒玉
	午後	—	大西(宏)	久我	西岡	兒玉
2診	午前	高橋	津田	角田	埜本	—
	午後	高橋	津田	角田	—	—
3診	午前	担当医	担当医	担当医	富士井	担当医
	午後	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
5診	午前	津田	金光	津田	津田	前岡
	午後	津田	金光	津田	津田	佐藤
6診	午前	脳血管内治療外来 高橋	—	脳血管内治療外来 大西(宏)/高橋	—	脳血管内治療外来 大西(宏)
	午後	脊椎・脊髄外来 山本	脊椎・脊髄外来 山本	脊椎・脊髄外来 山本	脊椎・脊髄外来 山本	脊椎・脊髄外来 山本
7診	午前	神経内科 立花	奇数月第4火曜日	—	内科 竈門(カマド)	神経内科 上田
	午後	—	てんかん 丸山	—	内科 竈門(カマド)	<13:00~> 麻酔科 鈴木

※診察受付時間:月~金 <午前>8:30~11:30 <午後>13:30~16:30 (H30.3)

連携協力医療機関のご紹介(No.146)

高橋医院

院長:高橋 知三郎

【認定資格】医学博士・日本内科学会 総合内科専門医・日本循環器学会 循環器専門医

【診療科目】内科、循環器内科、消化器内科(胃腸科)、呼吸器内科

【住所】神戸市垂水区天ノ下町1-1-175ウエステ垂水1F

【電話】078-707-0101

高橋院長からのメッセージ

垂水駅西口ウエステ垂水1階にあり、かかりつけ医として、内科一般診療と循環器、消化器を中心とした専門的な診療を行っています。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
午前(9:00~12:00)	○	○	○	○	○	○	/
午後(14:00~16:00)	○	○	○	/	○	/	/
午後(17:00~19:00)	○	○	○	/	○	/	/

※昼休みの直前は混み合うことがあります。
木・土曜日の午後、日・祝日は休診です。



連携協力医療機関のご紹介(No.147)

あらき整形外科

院長:荒木 邦公

【認定資格】医学博士・公益社団法人日本整形外科学会 認定 整形外科専門医・一般社団法人日本リウマチ学会 認定 リウマチ専門医・日本リハビリテーション医学会 認定臨床医・日本リウマチ財団 リウマチ登録医

【診療科目】整形外科、リウマチ科、リハビリテーション科

【住所】神戸市西区王塚台7丁目33番

【電話】078-921-1224

荒木院長からのメッセージ

当院はリウマチ、スポーツ障害、外傷などの治療、またPTによるリハビリを行い、介護でのリハビリが必要な方には当院二階デイケアの利用をお勧めしています。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
午前(9:00~12:00)	○	○	○	○	○	○	/
午後(15:30~19:00)	○	○	○	/	○	/	/



〒674-0064 兵庫県明石市大久保町江井島1661-1

TEL:078-938-1238/FAX:078-938-1236 mail info@onc.akashi.hyogo.jp <http://www.onc.akashi.hyogo.jp/>

地域医療連携室 TEL:078-938-1288/FAX:078-938-0399

発行責任者:院長 大西 英之 編集責任者:事務次長 瀧原 健司

